



新体制 新たな展開

新しいリージョン・センターと世界各地のクラブオフィスについては前回お知らせしましたが9月28日よりロンドンとサンダーランド、ギリシャの各オフィスでヨーロッパ・リージョンの組織変更が行われました。新しいリージョン・ダイレクターにHumphrey Hill、その下にSteve HarveyとSimon Mainがそれぞれ代表する2つのサブ・リージョンが作られました。今までの7つのシンジケートは新しく11のエリア・グループに再編成され、より少数のスタッフで少数のメンバーを担当し、クレームに限らずあらゆる面でよりきめ細かい対応ができると期待しています。

日本のメンバーの皆様には当日本支店及びインチケープP&Iを通していただいている限り基本的に影響はありませんが、日本のクレーム担当のSyndicate A1はArea Group Asia Pacific L8となり、F6はArea Group L5という名称に変わりました。その他の部門、つまりGordon Drakeが率いるアンダーライティングや大事故を扱うクレーム・スペシャリスト部門は組織変更はありません。しかもA1のRichard Carpenter、Peter Astbury他11名とF6でPersonal Injury担当のJohn Turner 以下10名のスタッフはいままで通り日本



Stephen James, Chairman of Thomas Miller P&I Ltd

を含めた地域のクレームを担当します。またこの両グループを統括するのはかつてのA1マネージャーであったSimon Mainです。

昨今、P&Iクラブは単にクレームの処理だけでなくOPA90やSTCW, PSC, ISM等の国際条約あるいは2000年問題などについて高度な専門的アドバイザーとしての役割を求められています。この要求に応えられるスペシャリスト集団として認識されたP&I保険は一般保険市場ではなかなか提供できない分野です。

Thomas Miller P&I Ltd.の会長Stephen Jamesは「業界のリーダーとしてより一層の専門的知識を提供し続けるためにUK P&Iクラブは船舶保険業界の変革と発展の先駆者でありつづけます。」と述べています。

トーマス・ミラー会社組織へ

UKクラブやTTクラブなど相互クラブの管理者であるThos .R. Miller & Sonは来年、PartnershipからPrivate Companyへ組織変更することとなりました。Thomas Miller P&I Ltd.などの100%出資の子会社はそのまま存続します。

シニア・パートナーのTerence Coghlinは次の様に述べています。「このような法人組織こそ相互クラブの運営には相応しく、激動の保険市場にあって世界中のクライアントの刻々と変わるニーズへの柔軟な対応が可能となります。それに欧米やアジアに勤務する550名のスタッフに会社の所有権を分配することも出来ます。

私達はこれまで株式の一般公開を一切拒否してきましたし、今後もその可能性はありません。自分の運命は自分自身でコントロールし続けるべきであり、メンバーの利益を株主の要求のために操作するような事は避けたいと思っています。

この変更によって社内の統制力が高まり、クラブとメンバーに奉仕する為に必要な優秀な人材を確保しやすくなるでしょう。我々にとって最重要課題は質のよいサービスを今後とも維持し続ける事です。」

自由準備金ふたたび増加

1998年2月20日現在の自由準備金は今年末に請求する1997年度後払保険料を除いた状態で前年度より4,400万ドル増えて2億9千万ドルになり過去最高の水準に達しました。この増加は支払保険金の見積り等の負債が減った事と投資によるもので、将来予想外の巨大多事故等からメンバーを守るために準備金として内部留保されています。

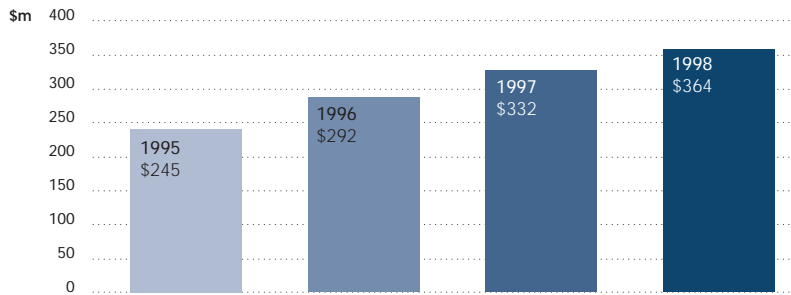
それは勘定閉鎖保険年度勘定を補う偶発事故準備金 (Contingency Account) やオーバー spills 再保険のための巨大災害準備金 (Catastrophe Reserve) や米国に寄港するタンカー航海ごとに追加徴収される再保険料の不足に備えるため1994年にできた米国油濁追加保険料準備金などです。

総資金及び負債 (Total Fund & Liabilities)

単位：百万米ドル

		負債	
		総資金	支払保険金見積等
勘定閉鎖保険年度勘定		319	319
未閉鎖保険年度勘定	1995	87	114
	1996	101	165
	1997	83	246
	未収後払保険料を除く	589	844
準備金			
	偶発事故準備金	474	
	巨大災害準備金	54	
	米国油濁追加保険料準備金	17	
	法定準備金	0.2	
98年2月20日現在	総資金及び負債	1,134	290 844
97年2月20日現在	総資金及び負債	1,119	245 874

自由準備金
Free Reserve



投資利益 当クラブは他のグループクラブと違い、当該保険年度の投資利益を未閉鎖保険年度勘定に繰入れずすべての準備金に繰り入れています。現在、投資利益の大部分は偶発事故勘定に繰り入れることになっています。この方法だと1995、1996及び1997年保険年度勘定は損失となりますが、もし当該年度の投資収益がその保険年度勘定に繰り入れられれば、その損失は利益に転じます。

内部留保金内訳 (Reserve)

		1998	1997
未閉鎖保険年度勘定	1994		24
	1995	-28	-55
	1996	-65	-50
	1997	-89	
	未収後払保険料を含む	-181	-81
偶発事故準備金	前年度残高	352	224
	当年度繰入	123	128
		474	352
巨大災害準備金		54	49
米国油濁追加保険料準備金		17	12
留保金 合計		364	332

ISM証書は填補条件です

この度インターナショナル・グループの各P & IクラブはISM証書の所持を保険填補の条件とすることに合意しました。UKクラブのルール改正案によると船主は旗国の要求にそった有効なISM証書を所持していない期間におこった事柄から生じるいかなるクレームに関して、理事の裁量による決定が無い限り、クレームを請求する権利を持たないとしています。

今後メンバーの方々には適合証書(SMC)や安全管理証書(DOC)のコピーをクラブに提出していただくこととなります。また、保険加入や更改もこれら証書の所持が前提条件です。UKクラブは、人的ミスが重大事故をひき起こす最大の要因であると長い間喚起してきましたが、ISMコードやSTCW条約等の改正で今や船舶運行における人的要素の取り締まりも強化されることになりました。これらの規制による恩恵はもう少し先の事になるかも知れませんが効果は着実に表れるでしょう。ISMコードについての詳細は7月に発行した回状11/98をご参照ください。

Loss Prevention... すべて損害を防止するために...

クラブは近年様々な手段で各種の海事クレームを防ぐための援助に力を注いできました。現在では、印刷物ばかりでなくビデオ、CDまたはインターネットのウェブサイトでクラブの提供するあらゆる情報がご覧いただけます。(http://www.ukpandi.com)

Large Claims Analysis

過去10年の主な海難事故を深く掘りさげクレームの傾向を明らかにした分析報告書Major Claims Analysisの最新版はまもなく発行

Loss Prevention video

クラブのプロジェクト紹介ビデオ"Loss Prevention Initiative"が完成。Cargo Matters, Bulk Carriers, Tanker Mattersに続いてContainer Mattersを作成中

Risk Management Book

Nautical Institute出版の"The Mariner's Role in Collecting Evidence" に続き "Risk Management in Shipping"が11月に発刊予定

Loss Prevention Bulletin

世界の損害情報をタイムリーにお届けするLoss Prevention Bulletin はウェブサイトで公開中。電子メールによる配信希望は当支店まで

2000年問題

海運業界は銀行・金融などに比べ対応の遅れが指摘されています。UKクラブの理事はメンバーへの援助に力を注ぐ手段として下のような3つの柱で2000年問題に取り組むよう指示しています。

UK P & IではRoger Nixon、Malcolm Dixonが担当しています。

Ship2000 Website

海運関連業者に役立つ専門業者コンタクト先リスト公開中 (http://www.ship2000.com)

Ship2000™ ToolKit

船会社のための2000年問題対策ガイド約200頁に及び具体的手順がFDの中に満載

国際会議

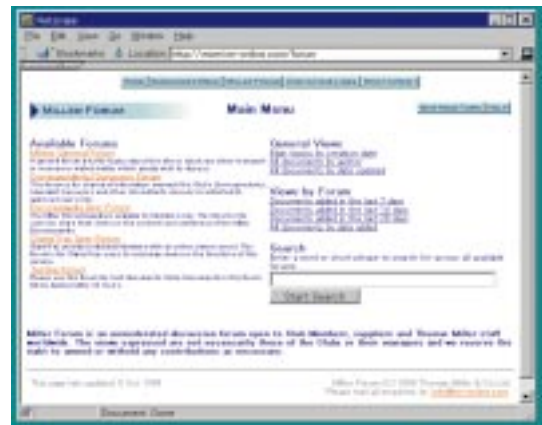
シンガポール、香港などで98年6月に開催されたP & Iインターナショナルクラブ主催の2000年問題国際会議。500名以上の参加者が海運・運輸業界の問題を再認識

Online Forum (http://www.tm-online.com)

TM-Onlineのフォーラム参加者が1000人に達しました。ここにはMiller General Forum, Correspondents/Surveyors Forum, Encyclopaedia User Forumなどがあり、メンバーを始めコレスポンデントや弁護士、サーベイヤーなどが専門的意見を活発に交換しています。ユーザー登録をされた方なら誰でも自由に参加、閲覧が出来ます。

Miller Forum

一般運輸・保険関連の情報交換ができるウェブサイト上の公開討論。まずはTM-Onlineにユーザー登録を...



Central Club Management

Stephen James
Hugo Wynn-Williams
Herry Lawford
Peregrine Massey
Nigel Carden
Graham Daines
Peter Wright (在ギリシャ)
Tel : 44-171-283-4646
Fax : 44-171-621-1782



トーマス・ミラーロンドン事務所

トーマス・ミラーロンドン事務所 日本担当者リスト

European Region

Regional Director : Humphrey Hill

Claims Specialists

Large Claims, Claims consultant

Tel : 44-171-204-2165

Fax : 44-171-204-2167

Technical Director: Phil Nichols

James Baker Tony Fielder

Andrew Graham Ian Hyslop

Rod Lingard George Mason

Andrew Trasler

Sub Region 1

Operations Director : Steve Harvey

UK, Sunderland, Greece, Eastern Europe & Scandinavia, etc.

Sub Region 2

Operations Director : Simon Main

Area Group L 8

Area Pacific

Tel : 44-171-204-2110

Fax : 44-171-204-2108

Area Director : Richard Carpenter

Peter Astbury Mike Bowen

Kit Chan Mike Fink

Daniel Lee Philip Whitehouse

Matthew Waterman Do Young Kim

Matthew Mitchell Carol Snashall

Area Group L 5

Area Director : John Turner

Personnal Injury, Crew fitness, Cruise & Special Risks, etc.

Tel : 44-171-204-2507

Fax : 44-171-204-2105

Tony Murphy Ursula Elsdon

Martin Turner Chris Dent

Darren Thomas Lynne Savignon

Mark Mawditt Elizabeth Lowe

Norma Cooper

Underwriting

Director: Gordon Drake

Lisa Meddings Erika Pagan

Neil Hensey Tom Manley

Ship Inspections

Loss Prevention Manager: Karl Lumbers
Tel : 44-171-204-2307 David Powell
Fax : 44-171-283-6517 Hilary Max
 Alison Hall

Ship Inspectors

Peter Boyle Peter Denny
Gordon Cummins David Wright
John Davidson David Heaselden

Tel : 44-171-204-2031

Fax : 44-171-621-9761

1998年度ルールブック日本語版ができました！

皆様からご要望の多かったルールブックの完全日本語訳がこの程ようやく完成しました。今回は以前に増して充実したものができたと自負しております。英語版オリジナルの参考資料として今後皆様のお役に立てて頂けるものと思います。尚、まだお手元に届いていない方や追加申込をご希望の方は下記日本支店までご連絡下さい。



発行者 UK P&Iクラブ 日本支店
住所 東京都千代田区神田神保町2-7-3
神保町TSビル8階

Web site: <http://www.ukpandi.com>

電話 03-3263-8880

ファックス 03-3263-8885